

Title	語文 第105輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 105
Issue Date	2016-12-10
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/70976">https://hdl.handle.net/11094/70976</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 編集後記

『語文』第百五輯をお届けいたします。今号は、古代・中世二編、近世一編、近代一編、国語学二編という編成となりました。

さて近時、大学の人文学系や教育系の部局に対する社会の風当たりが強く、部局再編・縮小の方向に舵を切る大学も数多くあるという動向については皆様もご承知のところかと思えます。近いところでは、神戸大学や名古屋大学もそのような方向で決定が下された模様です。大阪大学の場合は、大阪外国語大学との統合の成果を示すというミッションが与えられているので、直ちに文系部局の体制を見直す動きは今のところありませんが、何らかの「改革」から無縁ではられないことも事実です（関連して、大阪大学文学研究科と名古屋大学文学研究科が合同で二〇一六年三月一九日に「文学部の逆襲・パート2（仮称）」という公開イベントを名古屋で開催します。ご関心の向きは、ぜひご参加下さい）。

そのような状況下で、私たち研究者個人のありようとしては、人文学の伝統と新しい学的動向とのバランスを取りながら、倦まず弛まず議論と研鑽を続け、堅実な成果を積み上げていくということしかないでしょう。本号にも、そのような努力のあとを見いだしていただければ幸いです。

（金水 敏）

## 語文 第百五輯

平成二十七年十二月五日 印刷  
平成二十七年十二月十日 発行

編集・  
発行者 大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 出原隆俊

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 〇六―六八五〇―五一一一

印刷 亜細亜印刷株式会社